

理事会議事録

日時 2016年5月10日 15:00～

場所 全労連会館

< >は、決議事項です。

1. 第34回全日本級別サーフィン選手権大会の開催状況について

(1) エントリー状況

- 1st 57名、2nd 75名、3rd 84名、4th 42名、ウィメン 48名、ロングメン 80名
ロングウィメン 20名、BBメン1・2級 16名、BBメン3・4級 16名、BBウィメン1・2
23名、BBウィメン3・4 22名 総合計 483名 (昨年505名)
- ・BBクラスの級統合については各12名以上エントリーがありますので全クラス行います。
 - ・非会員エントリーについて 一般2名のみ、オープン会員 5名
非正会員のエントリーは前年度1名、今年6名なのでオープン会員、一般エントリーの廃止の検討
500人以上のエントリーで3日間で大会を行うのが難しい状況にあり、来季より一般及びオープン
会員のエントリーを廃止する方針とする。
 - ・全日本級別エントリーの推移について
 - ・大会役員について
 - ・スケジュールについて
 - ・強化指定選手(A・B選手指定)エントリー費フリーの取り扱いについて

(2) 運営状況

- ・大会設営について 設置場所
設営日 2016年5月18日(木)午前9時から
撤収日 2016年5月22日(午後から夜間まで)
- ・前日役員 2016年5月19日 午前 9時 コンテストディレクター、運営委員長、
ジャッジ委員長、大会会長、渉外、システム 計 5～7名
- ・後日役員 大会会長、コンテストディレクター 2名
- ・大会スケジュール
 - ① エントリー確認 2016年5月20日 午前6時30分から7時30分まで
 - ② 開会式 2016年5月20日 午前8時00分から9時まで
 - ③ 地震津波対応訓練 午前9時から9時45分まで
 - ④ 競技開始 午前10時

(3) その他

- ・広報ブース設置の有無について確認
- ・販売ブースは本部横に磐田市が2ブース出展
- ・交通整備員業者のお願い5名に変更(AM 5:00～PM17:00)×3日間
- ・パイロン、ライン引き等は要請済みです。(磐田市体育協会)
- ・オフィシャルスポンサー出展3社予定(ワンワールド、トランプ、ソニーモバイル)
※ソニーモバイルが会場内でHP用撮影を行います(20、21日)。

選手へ付与するポイントをわかりやすよう改善する。公認大会は一般エントリーはポイントなし

であるが、オープン会員には付与される。正会員とオープン会員の差を生じさせることが必要である。

世界の主流となっている優先権制度の導入を検討していく。

2. 第23回ジュニアオープン・第12回マスターズオープンサーフィン選手権大会について

大会期間 2015年6月17日(金)・18日(土)・19日(日)

場所 千葉県長生郡一宮町 釣ヶ崎海岸(志田下)

・エントリー期間 2016年4月25日(金)～5月20日(金)

(エントリー数 240名 5月10日現在)

・大会役員の決定について

コンテストディレクター 関口嘉雄

ジャッジ委員長 立山理事 決定

運営委員長 菊地理事 決定

その他 役員、ジャッジの早期決定が必要です。

・大会本部宿舎 九十九里ヴィラそとぼう

・設営、音響、駐車場、ガードマン配置など、詳細は今後打ち合わせ予定です。

・大会スケジュール全般(別紙 4)

競技スケジュールはエントリー期間終了後 次回理事会にて検討

世界選手権へ出場を希望する選手は、必ずジュニアマスターに出場するように義務付けすることを検討する。また、ジュニアで優勝したのに世界戦に出れなかったというクレームもあるので、対応を図りたい。方針としては、世界選手権大会を目指す選手は、当大会へ出場してもらい選考会のように世界戦のメンバーを決めていくことも視野に入れていく。

オリンピックの出場年齢をISAへ確認していくことも必要である。

3. 2016 ISA World Surfing Games (派遣大会)について

期間 2016年8月6日(土)～8月14日(日)

場所 コスタリカ Playa Jacó

選手の費用負担を軽減することも強化につながるが、現時点では決められた費用負担をお願いしていく。底辺の拡大にも注目すべきである。

4. 2016 ISA World Junior Surfing Championship (派遣大会)について

期間 2016年9月17日(土)～9月25日(日)

場所 ポルトガル アゾレス諸島

5. オリンピック正式種目についての記者会見

期日 2016年8月3日(水)～5日(金)

TV、新聞、WEB等各種媒体多数取材の見込み

リオの発表が真夜中になる予定なので、使用できる会議室等を探してる。また、記者会見へ出席

可能な選手を選定している。

6. サーフィン周知事業について（UMI 協議会関係）

（1）マリーカーニバルへの参加

開催日時 2016年6月4日(土)、5日(日) 10:00~19:00（設営は前日の午後）

会場 アーバンドック ららぽーと豊洲（東京都江東区）

主催者 日本マリン事業協会

このイベントでは、家族で参加して楽しむことができるマリンレジャーのプログラムが用意されています。

- ・免許取得応援プログラム
- ・東京湾クルージング体験プログラム
- ・ファミリープログラム
- ・キッズプログラム

①主催者よりトリックアートと商品展示（サーフボード等）の依頼があります。

家族連れなどが多数来場することが予想されますので、サーフィンの周知とオリンピックへ向けた国内の盛り上げに活用することが目的となります。

（2）マリンチャレンジへの協力

開催日時 2016年6月11日(土)、12日(日) 10:00~19:00（設営は前日の午後）

会場 夢の島マリーナ、若洲ヨット訓練所

主催者 UMI 協議会

陸域において缶バッチ作りや組紐教室などが行われます。水域ではカヌー、ディンギー、SUP、キッズボートの体験乗船会が行われます。

主催者よりトリックアート、チューブライディング撮影と商品展示（サーフボード等）の依頼があります。

トリックアート設営、サーフボードの掲示、連盟パンフ配布などを実施し、一般の方々へサーフィンを周知する。

7. スポーツ庁、JOC 等の関連団体との緊急会合について

バドミントン選手の賭博事件等を受け、スポーツに対する視線が厳しい状況にあります。団体関係者は当然のことではありますが、所属している選手についても倫理規定や行動規範の徹底を図ってほしい旨の指示がされています。

また、スノーボード強化指定選手が大麻吸引の問題で、選手としての登録削除などの処分がされています。

8. 大会や検定開催時の保険について

年次総会時に保険関係の質問がなされ、保険代理店と協議を進めてきました。法律の関係で連盟が保険を販売することはできません。NSA 会員の保険を受託している会社が検討しています。契約できる保険は、通称イベント保険と損害賠償保険です。イベント開催にあたっては、保険契約をお願いし

ていきます。

9. 韓国（KSF）における講習会等の開催について

契約書を作成し、事務局内で翻訳し、韓国側と契約を締結する状況にあります。契約後の5月には講習会等が実施される予定です。

5/7 ジャッジ講習会と公認指導員講習会を実施する。 立山理事 寺尾理事

10. 連盟ピンバッチの作製について

既にピンバッチの在庫がなく、公式訪問等の場合には個人が所有している物を使用しています。

今後、世界選手権の配布、記者会見や公式行事などでピンバッジを付ける機会が増加することから、その作成を提案します。

作成することを決定する。

11. 青年会議所との ACT 取組について

9月のビーチクリーン ACT において、青年会議所よりぜひ一緒に取組をと依頼がありました。

- ・NSA 各支部に、青年会議所より連絡を入れていただき、それぞれにて調整。
- ・NSA 支部に青年会議所からも人を派遣、募集してもらう。
- ・青年会議所よりメディアに対して発信＝パブリシティ狙う。

その他 ACT ポスター、パンフなどへの表記等は取組決定後に調整。

協力体制でビーチクリーンを実施することを決定する。

次回、会議予定	場所	全水道会館	5階	中会議室
	支部長意見交換会		15:00～16:30	
	定例会議		17:00～18:30	
	委員会		18:30～19:30	
	理事会		19:30～20:30	